



年 組 名前

道新で
ワークシート

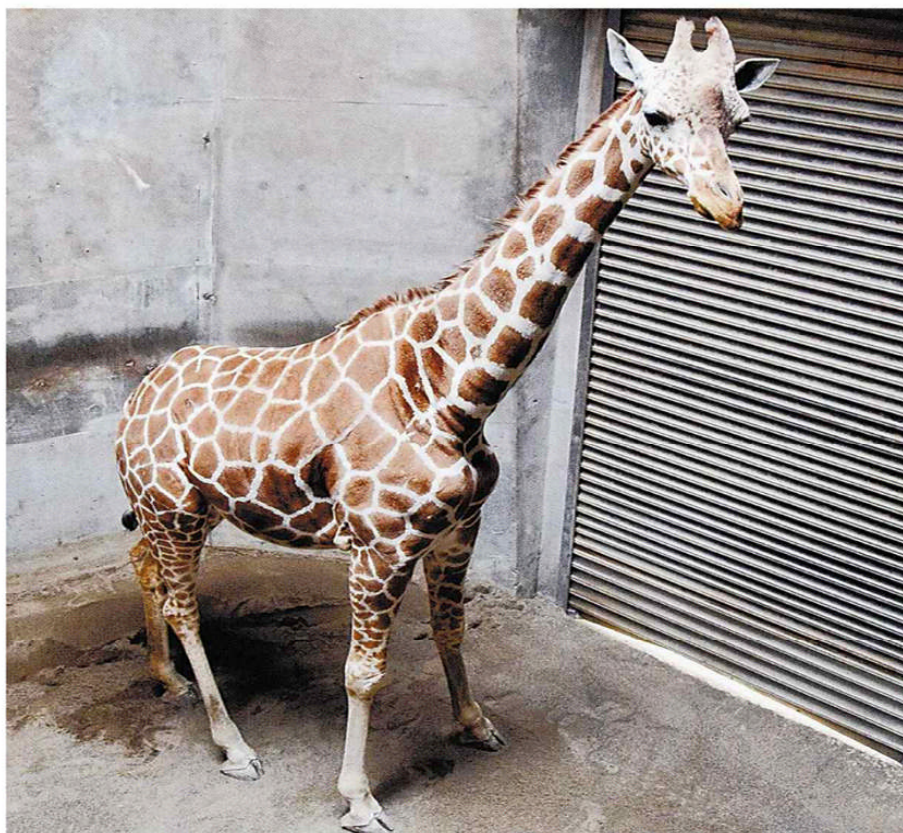
釧路市動物園 31年ぶり キリン もうすぐ出産

25日ごろ予定

釧路市動物園のアミメキリンの雌コハネ（6歳）が今月25日ごろに初出産を控えている。同園のキリンの出産は1988年にケープキリンが

出産して以来、31年ぶり。経過は順調で、関係者は出産の日を心待ちにしている。

コハネは2012年6月に羽村市動物公園（東京）で誕生。父親の雄スカイ（7歳）は同5月におびひろ動物園で生まれた。13年秋に解散し



初の出産に臨む釧路市動物園のアミメキリンの「コハネ」

た釧路市の市民団体「チャイルズエインジェル」が集めた募金が、13年9月のスカイの購入費に、14年5月に羽村市動物公園から貸与されたコハネの移送費に充てられ、釧路では88年以来26年ぶりにつがい復活した。

キリンは年間を通して繁殖できる。2頭は繁殖を目指し、18年3月から6月まで3回目の同居を続けた。寄り添う仲むつまじい姿やコハネの2週間ごとの発情期にスカイと交尾する姿が見られ、同年8月にコハネの妊娠が確認された。

妊娠後、コハネの安全を確保するため、2頭は柵を設けて別々に飼育されている。朝夕の1日2回、担当飼育員の大場秀幸さん（54）が牧草などの餌を与え、コハネの体重は昨年9月の709キから今年5月末には804キと95キも増えた。大場さんは「元気に出産して、かわいい子供を育ててほしい」、「チャイルズエインジェル」の元代表で釧路市の主婦坂本陽子さん（85）は「首を長くして待望の赤ちゃんを待っていた。安産を心から願っています」と出産を楽しみにしている。（安達杏奈）

2019年6月18日朝刊釧路・根室版（記事は再編集しています）

①釧路市動物園で、キリンの出産があるのは何年ぶりでしょうか。

②文章の最後に出てくる坂本さんの話しを参考にして、「首を長くして」という言葉を使って、短い文章を作りましょう。